

岐大通 2011



today's guest

コンサドーレ札幌

2010 J2第13位

J2通算対戦成績: 1勝1分3敗

2010成績

第0節 10/04/04 岐阜3-0札幌

第2節 10/09/26 札幌0-0岐阜

2009成績

第1節 09/05/16 札幌3-0岐阜

第3節 09/08/16 岐阜0-2札幌

第4節 09/11/22 岐阜2-4札幌

2011J2 順位表 第1節 変則

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視点)

1	千葉	22p	+9	19	10	A
2	栃木	20p	+9	17	8	
3	鳥栖	18p	+9	15	6	
4	湘南	18p	+7	12	5	H
5	草津	18p	+3	16	13	
6	徳島	18p	+1	13	12	H
7	愛媛	17p	+2	14	12	A
8	FC東京	16p	+2	10	8	
9	熊本	16p	+2	8	6	A
10	北九州	14p	-6	7	13	
11	水戸	13p	-1	10	11	H
12	札幌	13p	-1	6	8	
13	鳥取	12p	-1	8	9	
14	岡山	12p	-3	13	16	
15	横浜FC	10p	-3	10	13	A
16	東京V	09p	-1	11	12	H
17	大分	09p	-4	8	12	H
18	富山	09p	-6	8	14	A
19	京都	08p	-5	8	13	
20	岐阜	04p	-11	6	17	---

次回 HomeGame

第1節
京都サンガ戦

7/3(日) 19:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)
6/19号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく & 吉田醸造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での
発行を目標にしますので、よろしくお
願い致します。

2011 J.League Division2 第1節 コンサドーレ札幌戦

6/19(日) 18:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

首位相手に一度は追いつくも.... 千葉3-岐阜【第1節】

FC岐阜はアウェイで千葉と対戦し1対3で敗戦。前半に田中選手のゴールで1対1に追いついたまでは良かったが.....。あと1点が.....。苦しい時こそサポーターがチームに活力を。FC岐阜頑張れ!(ハマッチ)

ところで、岐阜にはブルーノって選手が何人いるの? そう尋ねてしまいたくなるようなブルーノのパフォーマンスに、少し救われた感のあるこの試合。確かにシュートは13本も撃っているし、コーナーキックは千葉より多い。数字だけ見れば首位相手に健闘したといえなくもないが、シュート24本は撃たれすぎじゃないか? おまけに、シュートを始めプレーの精度には歴然とした差があって、そのあたりが順位の違いを出ることを痛感した。ホントにフクダ電子アリーナはすばらしいスタジアムで、ピッチとの距離も近いのでプレーの内容がよく見える。先制された米倉のゴールなんかは、米倉自身と村尾の間にDFを置き、村尾の視界をさえぎっておいてのコントロール・ショット。アレをあのコースに決められては村尾にはノーチャンスのアツパレなシュートだった。

また、その近さゆえに千葉サボ側のゴールもよく見えたわけで、秀人の同点ゴールは、204cmの北欧の巨人・オーロイの前に鮮やかに飛び込んでの一撃。「してやったり!」の技ありヘッド。ゴールネットが揺れた瞬間が、反対側からでもバッチリ見えて、いっきにボルテージが上がったままハーフタイムを迎えたのだけれど.....。次の点をどちらが取るか。それは、千葉以上にウチにとって重要なタスク。そして、そのチャンスもあった。それが後半開始直後の卓のシュート。押谷からのパスがうまくつながり、千葉の先制点同様タイミングを計っての一撃だったがわずかに枠を外してしまう。そして、それが分岐点だったのか勝ち越しのゴールは決めたのは千葉。1点目と同じようにドリブルで得意の形を作り、これも狙い済ました低い弾道のシュートがゴール左隅に。千葉F深井の、これまた村尾にはノーチャンスな一撃だった。千葉の3点目もハデな一発で、コーナーキックから頭で狙うようなハイボールをジャンプしての前蹴り。さすが豪州代表、という表現が妥当かどうかかわからないが、とっさの判断力と身体能力を見せつけられた。

2点差をつけられ、今季3点以上取ったことのない岐阜には厳しい事態となったが、一点差にすれば十分いける。そういう流れを作り出してくれたのがブルーノだった。ファースト・タッチがあわやのシュート。全開の運動量で、千葉の左サイドを蹂躞し守備網の裏を突いて、決定的なクロスも送ってくれたのだが.....。アレを、あのフリーな状態で決められなかったのは痛恨の極み。洗一は徹底的に猛省し、札幌戦までシュート練習を励むように。ああ、卓も練習してください。ああいうのを決めないと勝利はますますおぼつかない。

(右上に続く)

それにしても.....。ブルーノを初めて見たのは中断中のトレーニング・マッチだったが、そのブラジル人選手らしからぬボール・タッチやもろもろに思わず首をかしげてしまい、その後仲間から聞こえてくる評価もいっとうに芳しくなかったの、正直期待していなかったのだが、練習より試合、トレーニング・マッチより本番という実戦向きの選手なんだろうか。とにかく、今は「ごめんね、ブルーノ。」と言わなきゃならない。これから、予想をどんどん裏切っていくってほしい。イイ意味で!(ぐん、)

【ユース】 全国大会出場ならず.....

我がFC岐阜ユースU-18(以下「岐阜卓」)は6月5日(日)に「日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会東海大会2次トーナメント」の2回戦を戦いました。場所は日韓Wカップの時に日本代表チームが直前合宿をした磐田市スポーツ公園ゆめりあサッカー場。相手は名古屋グランパスユース(以下「名古屋」)。今年から創設されたU-18プレミアリーグで全国レベルの舞台で戦っているユース界でも強豪のチームです。一方の我が岐阜卓の現在の所属はU-18プレミアリーグを1部とすると6部に相当する岐阜卓のG3リーグ。その壁はとも高い物ですが「是非勝って全国大会に行きたい!」と選手達も気合いが入っていると聞いていました。そしてそんな選手達を応援しようと岐阜卓の観客席にはGMやスタッフの姿の他に60~70人程の応援が有りました。試合は名古屋のキックオフで試合開始。前半12分に名古屋の選手の豪快なミドルシュートにDF・GKが対応出来ずに岐阜卓は失点してしまいます。その後は一進一退の展開となりますが、どちらかと言うと個人技とスピードに勝る名古屋が試合ペースを掴みます。前半は0対2で折り返し。勝つ為には攻めるしか無くなった岐阜卓は後半からDF一人を中盤・前線に上げ、点を取りに行く姿勢を見せます。その甲斐もあり相手ゴール前まではボールを運ぶ事は出来ませんが、最後のフィニッシュに結びつける事が出来ません。逆に名古屋は岐阜卓の手薄になったDF陣の隙を突いてきて得点を重ねていきます。岐阜卓の選手達からは「何とか1点取ろう」という意思がアリアリと感じられますが結果に結びつかず、結果的には0対6で試合終了となり、全国大会に出場する事は出来ませんでした。さて、6月18日から岐阜卓の高校のリーグ戦が始まっています。油断せず、取りこぼしが無いように勝ち抜いて貰いましょう。FORZA! FC岐阜ユース!! (シュナ)



本庄工業株式会社

http://www.honj-woodream.com/

得点の気配さえいまだ遠く...。 岐阜 0-湘南【第15節】

FC岐阜は長良川で湘南と対戦し0対1で敗戦。前半はいい試合をしていただけにあと1点が.....。苦しい時こそサポーターがチームに活力を。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

連敗で迎えたホーム湘南戦。相手は昨年J1だった強豪だが、「これ以上はホームで負けられない」というチームの意志が見えた試合だったと思う。豊富な運動量と周囲を鼓舞し続ける統率力が長所の菅和範が今季初のスタメン起用されたのも、そのためだと思った。

実際、試合の立ち上がりは、若干だが岐阜の方が押していた...と思う。押谷や染矢が、ゴールエリアに入り込んでシュートを放つが、狭いコースで惜しくもゴールには結びつかない。ここで先制点が入れば良かったのだが、徐々に湘南のリズムが上がってきた...というか、（残念ながら今季は「相変わらず」なのだが）岐阜が自分たちのミスでリズムを失ったように見えた。ボールを奪っても、カウンターを仕掛ける段階でパス&トラップミスが出たり、あるいは最終ラインでボールを回している段階を狙われたりして、すぐに湘南にボールを奪われて再び攻め込まれて...。しかし、今節は選手たちの守備意識が強かったように思う。攻め込まれても、ほとんど決定機を作らせず、前半を終了する。

後半当初も、ボールを奪われるものの粘り強い守備でゴールを許さない...という展開。ところが、バイタルエリアで一瞬の隙を突かれ、ワンツーパスから湘南FWに裏をとられてGK村尾と1対1になり、失点。村尾は反応よくボールに触ったんだけど、相手FWが思い切りよく足を振り抜いたので、弾いたボールがゴールに入ってしまった。その後、失点を取り返そうと岐阜も攻勢に入るが、どうしても攻撃がチグハグに。嶋田のミドルは惜しかったが、しかしそれも敵GKに阻まれる。すると、岐阜は先日加入したばかりの新外国人選手#34、FWブルーノを投入する。一瞬、「加入したばかりで連携とか大丈夫か?」と思ったが、今季当初からずっと練習生だったんだっけ（苦笑）。そして、そのブルーノがいきなり輝きを放つ。裏に抜けるスピードとフィジカルな強さで右サイドを攻め上がり、また、我々サポーターを「もっと声援を!」とばかりの身振りですタジアムを盛り上げる。ロスタイムには彼のクロスから敵ゴール前の混戦になり、西川がシュートを放つが惜しくも同点ならず...敗戦。これで3連敗、引き分けを挟むと5連敗（この後、千葉戦でも敗戦したので、現在は4連敗、引き分けを挟んで6連敗）になってしまった。

まあ、今季の中では「一番マシな負け試合」だったと思うが...しかし、負けたという事実は変わらない。守備は徐々に良くなっているようだが、それよりも攻撃の意識が合っていないことが問題だと思う。パスの精度が悪いのなら、受け手はもっと動いて相手のマークを外さないといけませんが、ボールを待っていることが多いし、出し手も、敵が狙っているところにパスを出すので簡単に奪われる。あるいは、味方の動きが見えていないのか、固まり過ぎてスペースを殺してしまっている場面も何度か見受けられた。

こういった閉そく感のあるチーム状況では、やはり選手起用を大幅に変えてチームの活性化を図るのが解決策になると僕は思うのだが...その期待に反して、あまりメンバーは変わらない。特にDF陣は全然変わっていないんじゃないかな?組織的な守備には時間が必要だったのは分かるけど、ここまで失点して負け続けると...。負けたとしても、そういったチームの「努力」が目に見えると、僕らのモヤモヤした気分も若干は減ると思うんだけど...控えの選手たちは、そんなに今のスタメンよりも調子が悪いんだろうか?もしそうならば、控えの選手たちには、スタメンの座を奪う気迫と努力を是非とも見せて欲しいと思う。とりあえず、ブルーノはスタメンで見たいなあ...（笑）。（ささたく）

2年ぶりの湘南戦。わずか1シーズンで戻ってきたとはいえ、その実力はJ2屈指。理論派・反町監督の指導力に加え、今季もJ1クラブからのレンタル選手を何人か補強したとあって、昇格候補の筆頭にも挙げられる手強い存在。今の岐阜には荷が重い相手だが、過去の対戦成績は4分2敗。しかも、敗戦の2試合はいずれもアウェイ。つまり、この長良川では「ただの一度も負けちゃいない。」もちろん、一度たりとも勝っちゃいないのもまた事実。ジंकスと呼ぶことすらはばかれるような過去の成績を、ジंकスとして頼りにしたくなる現状。文字通り「藁にもすがる」ように、「何でもイイ。どんな形でもイイから結果がほしいっ!」と臨んだのだが、やはり現実はそのなかに甘くなかった。

とはいえ、試合の流れというか内容、特に前半は今季でいちばん出来がよかったように思う。負けた試合で今季いちばんというのも正直おもしろくない話だが、前節の愛媛戦をはじめとした今季の象徴である「つまらないミス」からの失点がなかった。残念ながら得点チャンスもたった一度で、アレを決められないのが1番しさかな?と苦笑しながらも、期待を高めて後半に臨んだのだが.....。先に点を取られた後はうまく湘南にいなされた、という感じが。そんな中でも、初スタメンの和範はがむしゃらにひたむきな彼らしいプレーを見せてくれたし、終盤に初登場したブルーノは「もっとアゲてくれ!」と言わんばかりにサポーターをあおるようなパフォーマンスでその存在を印象付けたような気がする。今後に期待したい。

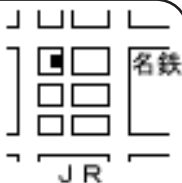
苦しく厳しい状況が続くが、和範のようなひたむきなプレーとブルーノのようなフレッシュなパワーがその状況を打開してくれるはず。とにかく、これからもスタジアムで選手を後押しする。それだけは続けていかなければ、と思う。もちろん、変えなければならないと思うことは、きちんと伝えていかなければならない。でなきゃ、変わるものも変わらない。（ぐん、）

試合終了時に、メインで観ていた仲間と「これならブーイングは出ないよね」と話していたら、やっぱりブーイングは出なかった。これまでに何度となくあった『ひどい試合』ではなかった、ということか。ほくも『ひどい試合』だとは思わなかった。観戦後に長良川堤防道路を自転車でする時の気持ちは、その前のホーム戦の時のような「ヤケクソ」感ではなかった。しかし、実際のところは結果が出ていない状況に変わりはないわけ。

これは、観客側の要求水準が下がってきている、ということなのだろうか?つまり「勝ち点3」なんて望んでも無理なんだから、せめて酷くない内容の試合が見られれば.....」という。もちろん、そんなことはない。求めているモノはゴールであり勝利であり。ただ、おカネを払っている以上、どこかに『自分が満足出来るポイント』を探そうとするのは、自然なココロの作用なんだろうと思う。その「ハードルが下がった」感を感じ取った選手もいたのかもしれない。終了後の挨拶時には涙を流していた選手もいたらしい。

この試合のポイント、やはりブルーノだろう。ピッチに出たからの動きは、これまでのFC岐阜の選手にはないものだったし、バックスタンドのサポーターを煽ってスタジアムの雰囲気「よしっ、追いつくぞ!」と昂ぶらせたりもした。ほくは、今年のFC岐阜で初めて「選手交代で何か『足された』」ような気がした。だから、これは左に書かれている意見と違うのだけど、ほくはブルーノはサブの切り札で使ってほしいと思う。もし彼をスタメンで使うなら、サブには『切り札』になりえる選手、例えば押谷とかを置く。そうすれば、選手交代時に対戦相手に「怖さ」を与えることが出来る。これまで、ほくらが何度も何度も、対戦相手の選手交代で「うわあああ、コイツが出てくるのかあ...」と恐怖したように。（吉田醸造）

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休：日曜日（今日はお休みです）



ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）